

課長	課長補佐	係長	記録

【所属名:文化振興課】  
【会議名:令和7年度第2回糸魚川市文化財保護審議会】  
**会議録**

<input checked="" type="checkbox"/> 開示
<input type="checkbox"/> 一部開示
<input type="checkbox"/> 不開示 (理由:条例第 条第 号 該当)
<input type="checkbox"/> 時限不開示 (開示: 年 月 日)

作成日 令和7年8月28日

日	令和7年8月27日(水)	時間	09:00 ~ 11:15	場所	市役所 204 会議室
件名	協議題				
	(1) 糸魚川市文化財保存活用地域計画の評価チェック ア 評価の流れの確認 イ 文化振興課の自己評価報告 ウ 自己評価の審査 エ 意見の取りまとめ (2) 収蔵庫に係る意見交換について (3) 今後の日程について その他				
出席者	【出席者】7人 吉田委員、井伊委員、池亀委員、小掠委員、倉又委員、木島委員、渡邊委員				
	【欠席者】2人 吉倉委員、佐藤委員				
	【事務局】6人 文化振興課 嵐口課長、榊課長補佐、渡邊係長、七澤主査、小池主任主事、藤木職員				
	傍聴者定員		-人	傍聴者数	0人

会議要旨

<p>会議開会 (9 : 0 0)</p> <p>1 開会 (吉田会長)</p> <p>2 協議題</p> <p>(1) 糸魚川市文化財保存活用地域計画の評価チェック</p> <p>ア 評価の流れの確認</p> <p>【事務局説明内容】</p> <p>地域計画は令和5年7月認定となり、令和6年度から実施期間に入った。</p> <p>本日は、令和6年度の評価についてご審議をいただく。</p> <p>状況は1、2、3の位置にあり、本日は4チェックになる</p> <p>文化振興課の自己評価を、保護審議会の皆様からチェックいただき、今後は5、6、7、8へと進む。</p> <p>保護審で内容のチェックし、推進協議会で進捗の評価を行っていただく予定である。</p> <p>なお、本日の評価チェックにあたり事務局からお願いしたいことは、例えば人口減少や社会変化、財政状況などから、保存や活用の理想像について即時実現というのは正直今難しい状況だと考えている。しかしながら、まず理想が第一とし、そのうえで実情を捉えた第二段階、第三段階という数段構えということもあろうかと思う。</p> <p>それと地域計画の基本である、所有者だけではない、市民だけではない、行政だけではない、</p>
---

地域総がかりの観点を踏まえ、ご意見を頂戴できればと考えている。

**【質疑意見】**

特になし。

イ 文化振興課の自己評価報告

**【事務局報告】**

資料No.3により説明。

黄色はイエローカード、ピンクはレッドカードのイメージとしてみた。

グレーは、7年度以降に開始する計画となっており、今回の評価対象外である。

評価欄がA Bについては、比較的順調ということを表している。

本日のご説明は、C評価と未着手が主となる。

資料No.4（説明省略）

ウ 自己評価の審査

**【質疑意見】**

（詳細は本会議録の末尾に記載した。）

エ 意見の取りまとめ

以下について中間報告書（案）として取りまとめることとした。

・ 人員の確保増強

人口減や社会情勢の変化による文化財消滅の危機が喫緊の課題である。文化財は、無くなってしまってからでは対応ができないものであり、そのために糸魚川市文化財保存活用地域計画を策定していることから、最善を尽くすよう担当部局の人員確保を要望する。

・ 専門職員の配置

減少局面では、専門家の判断が必要である。また、充実したジオパーク活動を活かすには、歴史や動植物と連携をとる必要があり、同分野の専門職員（主として学芸員）の配置を要望する。

・ 連携協力の呼びかけ

市職員だけでは文化財の保存活用策は成り立たない。事業行程を工夫し、市民や関係者、または学生に協力を呼びかけながら進めていただきたい。

・ 評価票の整理

評価対象の施策が、どの分野に位置するか分かりにくい。見出しを付けるなどの項目分けをしていただきたい。

・ B評価について

B評価が多くなっているが、事務局の遠慮が見られる。順調に事業を行っていて現状の課題が無い項目については、A評価へ変更するよう調整願いたい

(2) 収蔵庫に係る意見交換について

【事務局説明】

文化振興課の収蔵庫については、当面、次のように考えたい。

- ① 第一に、新設、近隣で、統一収蔵庫を将来的な目標とするが、
- ② 当面は、現施設を使う。
- ③ よって、まず現施設を整理する。
- ④ 次に緊急度、種類ごとに分けて考える。
- ⑤ 緊急度が低いものを、空き小学校などを利用する。
- ⑥ これが永年利用ではなく、逐次条件が良い方へ移っていくことを念頭に検討する。

なお、こども教育課の「学校のあり方検討」「他の市有保管庫の対応」「登録博物館申請」の課題が出てきたことから、それらの状況によって変化することが想定される。

本日は、状況報告とさせていただきたい。

【質疑意見】

特記事項なし。

(3) 今後の日程について

【事務局説明】

9月に推進協議会を開催したい。

その結果及び「学校のあり方検討」の方向性を、当文化財保護審議会に報告するため、年内に第3回審議会を開催したい。

【質疑意見】

特記事項なし。

3 その他

特記事項なし。

4 閉会

閉 会（11：15）

## 自己評価の審査内容

### ○ご意見等があった主な項目

#### No.34,35 防災防犯マニュアル関係

- ・ 防災、防犯対策のチラシは、国県のチラシを活用しながら行うことで良いと思う。
- ・ 実際に文化財が盗難にあった案件はあるか。
  - 指定文化財はない。  
須沢臨海公園のヒスイ原石が割られた案件はある。  
トレイルカメラ等の紹介をしていきたい。

#### No.55 マイコミ平の件

- ・ 地元では話を聞けていないので、B評価ではないと感じる。

#### No.68,69 奴奈川姫の伝説関係

- ・ 本件について、現状では市が主体となって実施する必要は無いと思う。

#### No.76 保存団体への支援関係

- ・ 未指定文化財を含め、団体数を把握しているか。
  - していない。  
まず、悉皆調査が必要になるが、実施に至っていない。  
なお、区の数だけ団体はありと認識している。  
現状、問い合わせがある場合に、できる範囲で支援対応している。
- ・ 支援の補助金がある場合、周知についてどう考えているか。
  - ホームページで紹介している。  
ただ、リニューアルして探しにくい部分かもしれない。  
見やすくなるように、HPを調整する。

#### No.96 文化財レスキュー関係

- ・ 文化財レスキューについて、制度化できていない理由はどうか。
  - 文化財は多種多様、統一的な制度が難しいと感じている。  
なお実際は、個々に対応している。
- ・ 国県のレスキュー制度を参照してほしい。
- ・ 防災訓練を行っているか。
  - 実施している。  
1月の定期訓練、その他文化振興課として年に1～2回、実施している。  
消防署とのコラボは火災対応が主になるので、地震に特化した訓練を行いたい。

## No.99 民間団体との連携

- ・以前、長者ヶ原遺跡公園でクラフト展等があったことから、民間との連携感があったように感じる。今はどうなったか。
  - 実施者が場所を変えている。
    - 一方で美山プロジェクトとの連携がある。
- また、推進協議会、ロータリークラブの草刈、高校生とのコラボなど、地道な活動であるが、取り組んでいる。

## ○全体としていただいた意見

### ① 体制強化

職員が少ないことによる施策の延期、先延ばしは仕方がない部分もあるが、中には速やかな対応が求められる重要事項もある。

文化財関係の体制補強について、当保護審議会から意見を出すべきではないだろうか。

### ② 専門員の配置

また時代変化の対応と、ジオパーク事業の整合を考えると、歴史や自然の専門員が配置されていないのではないかと。

### ③ B評価について

自己評価でBが多く、事務局の遠慮を感じる。

現状で課題が無い項目は、A評価でも良いと思う。

### ④ 票の区切りと見出しの設置

同じような単語が出てくる。

章によって意味が異なることが分かりにくいので、見出しを付けるなどの工夫をしてほしい。

## ○その他、質疑があった内容

- ・ 新潟県が行っている「県内の祭りの調査」について
- ・ ジオパーク遺産について
- ・ 婚活イベントの内容見直しについて
- ・ 上刈みかんの状況把握について
- ・ 根知城の調査は厳しい件
- ・ デジタルアーカイブは大切であること
- ・ 県が作成した街道調査の資料について
- ・ バタバタ茶の現状について